

10月29、30日に香川県で行われた全日本ARDF競技大会で静岡県勢が優秀な成績で入賞を果たしました。

電波探索競技の全国大会



県勢で1位から3位までを独占した選手たち。香川県

2011 全日本 ARDF 競技大会

県勢が表彰台独占

御殿場高
浜松工高
吉原工高

10月29、30日に香川県で開催された全日本ARDF競技大会(日本アマチュア無線連盟主催)に出場した御殿場、浜松工業、吉原工業の3高校が学校対抗の部で1、2、3位に輝いた。一つの県が表彰台を独占するのは、23回を数える大会史上初めての快挙という。

ARDF(電波探索)
競技は、アンテナと受信機、地図を使って約500m四方のエリアに隠された発信源を探しながらゴールを目指すスポーツ。学校対抗の部では、各校の上位3人の発信源の発見個数とタイムの合計を競った。

県勢は個人でも好成績を残した。M19(男子高校生)の部で高杉勇也さん(御殿場3)が優勝、西野昂平さん(浜松工業2)が2位に輝き、W19(女子高校生)の部では藤田舞さん(吉原工業3)が3位入賞を果たした。

エキシビジョンで行われた3・5mが部門の個人部M19でも県勢が1、2位を独占した。表彰台を独占した背景には、県全体で取り組んだ選手育成がある。各校で技術向上を図る高校が多い中、県内では合同技術研修会を10年ほど前から開催。今年8月には、全国や世界で通用する選手を育てようと泊3日の合同合宿も開き、選手レベルアップを図ったという。

同大会の結果は来年9月にセルビアで開催される世界選手権大会の代表選考の参考になり、本県から複数人が日本代表に選ばれる可能性が高い。県高文連無線専門部長で浜松工業高の西岡孝治校長は「表彰台独占は快挙。静岡のレベルの高さを証明した。これから続く選手への励みになる」と喜んだ。

静岡新聞 平成23年11月8日朝刊掲載
掲載については、静岡新聞社編集局調査部承認済み